

業種別ゼミ概要 (WEB掲示用)

作成日：2026年 3月 5日

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」		
ゼミ名	金融（銀行・証券・投資銀行・資産運用・ファンドビジネス等）		
講師幹事名	林洋之/大和田俊也	大学教員	全学共通教育センター長 南 裕子
学期	R8 (2026) 年 春夏 ・ 秋冬	開講時間	水曜 4～5時限

【授業の目的・到達目標】

- 劇的に進化しつつある金融界の最前線で、過去何が起こり、今何が起こらんとしているかを、最新の情報で学び取ること。
- 一流講師陣との対話や演習などを通じ、視座を高め、今後の学業の動機付けや自らの将来をより深く考える契機にして頂きたい。
- 金融知識の多寡や学部、国籍等は問いません。金融に関心のある方、問題意識の高い方、積極的に議論に参加する方を歓迎します。

【上記目的・目標達成方法】

- 金融界のそれぞれの事業分野で、実際に指揮を執っている現役経営者の方、または経営経験者の方を中心に講師として招聘します。
- 様々な職歴を有する講師陣から独自の視点で金融界の動向を解説して頂き、時代の流れと今後の方向性を理解する。
- 対話型の講義を基本とし講義後は懇親の場を設けるなど、各講師の仕事に対する姿勢や人生観などにも直接触れられる機会をより多く作ります。講師やゼミの仲間と議論を重ねることで自らの将来を真剣に考える良い機会になることを期待しています。

【授業の内容と計画】

月日	講師名	卒年 学部	社名・役職 (※役職は作成日現在)	講義内容
4月22日 @国立キャンパス	大和田俊也	昭59社	日本興業銀行(現みずほ銀行)入行 デクシア・クレディ・ローカル銀行等を経て シティバンク コンプライアンス部長	開講 市場から見た内外金融の変遷と今後の展望
5月13日 @国立キャンパス	林洋之	昭60経	三菱銀行入行 三菱UFGフィナンシャルグループ常務執行役員、 三菱UFJモルガンスタンレー証券常務執行役員 ソニーフィナンシャルグループ上席執行役員を歴任	金融の全体像。役割・意義・ボーダーレスな成長の視点から。
5月20日 @国立キャンパス	小林和成	昭59経	三菱商事入社 エー・アイ・キャピタル設立 キャピタル・ダイナミックス代表取締役社長等を歴任	プライベート・エクイティ投資の実際 (グローバルな投資家の視点)
5月27日 @国立キャンパス	筒井鉄平	平11法	三菱商事入社 モルガンスタンレー証券、グリーを経て 米国でベンチャーキャピタルGFR FUNDを設立 同社マネジングパートナー	シリコンバレーのベンチャーキャピタル運営
6月3日 @有楽町	佐藤雅典	昭61年	日本長期信用銀行入行 ゴールドマンサックス証券等を経てジェイ・ウィル パートナーズを設立 同社代表取締役社長	企業再生ファンドの経営 その活動内容と目指すもの
6月10日 @丸の内	三宅卓	学外	日本オリベッティー入社 日本M&Aセンターを設立 日本M&Aセンター代表取締役社長	中堅・中小企業のM&Aについて
6月24日 @大手町	星野晃		シティグループ証券株式会社市場部門長	トレーディングルーム見学
7月1日 @国立キャンパス	有田浩之	昭62年経	日本興業銀行入行 ブラックロック・ジャパン代表取締役社長 CEO	新たな金融/資産運用業の役割
7月8日 @如水会館	林洋之 大和田俊也	昭60年 昭59年	同上 同上	課題設定 閉講

業種別ゼミ概要 (WEB掲示用)

【テキスト・参考文献】

○適宜、講師の方からご連絡いたします。

【受講生に対するメッセージ、希望】

○以下は、ここ数年の受講者のアンケートや課題レポートからの抜粋です。参考にして下さい。（ ）は受講時の学部学年・性別

現代金融事情の変遷から日本経済停滞の歴史的背景を読み解くことができました。名称は知っているけど内容を深く理解できていない事柄について、実際にそれらを最前線で対応されてきた臨場感ある講師のお話は非常に刺激的で勉強になりました。産業界を牽引されてきた講師の熱い一橋魂に触れることができ、それを引き継いで停滞する日本経済の再建に貢献したいと強く感じました。(経3・男)

もともと金融業に対して抱いていたイメージは良いものではなかった。しかしイメージと実際に働いている方々のお話とはあまりに違っていた。もしイメージだけで判断を続け、金融業界という将来の選択肢を外していたらと思うと一抹の恐怖を覚える。

・ ・ (略) ・ ・ 如水ゼミではかけがえのない学びを得たとともに学生時代に強く影響を受けた授業としてずっと記憶に残っていくと思います。(社3・女)

多くの講師が金融や経済について語る際に歴史、文学、哲学など教養的な分野に触れていた。どの講師も問題意識が高く、勉強に対する意識が刺激され、今後の学生生活にも大きく影響する講義でした。キャリアに対する考え方も大きく変わり、多くの指針を頂いたと思っております。(法2・女)

如水ゼミを通して得た「気づき」の中で自分にとって大きなものであると感じたのは、“自分が何を為したいか”という視点で将来設計をするという点である。今まで自分がキャリアについて考える時の判断基準は給料や安定であったが、これらを判断基準とした将来設計には、一本通した軸が欠けているような気がした。(商2・男)

自分の内定先であるM&A業界が与える日本経済への影響の大きさを感ずることができた。・ ・ (略) ・ ・ 率直に言って、キャリアアップを志向して就職活動をしていたが、それ以上に使命感を持って仕事に取り組むモチベーションを得ることができた。(社4・男)

このゼミで、金融に少しでも触れることができ、また、その中でも自分の興味のある分野を見つけることができました。韓国では如水ゼミみたいに先輩の方が授業に来てくれるものはないので、会社で働く方の貴重な話や考えなどを聞く機会がありませんでした。・ ・ (略) ・ ・ すべての授業の時間がとても意味のある時間でした。ここで学んだことは金融だけでなく様々な分野に通用する知識だと思います。(経3・女・韓国留学生)

一言でいうと一橋の授業の中で一番良い授業だと思います。私は金融の基礎的な知識すら無く高校生気分の抜けのないような状態でこの如水ゼミを履修しました。しかし、ゼミが終わった今では金融に関する知識がついたのは勿論のこと、人間として一歩前に進んだ段階のビジョンが見えてくるようになりました。社会の第一線で働く人のお話を聞くことは、大学生の自分にとって本当に刺激的な体験で、今後のことを考えるきっかけになりました。(商2・女)

金融とはお金が余っているところから足りないところへ流す川の水の流れのイメージ。今まではその水は無色透明だったが、授業を通じてそこにさまざまな色を付けていくイメージに変わった。本質はそのままに色は何色にも代えられる。自由な発想、創意工夫を通じて、金融を自分なりの色に染めたいと思った。(経3・男)

<後輩に対するメッセージ>

一口に「金融」と言っても様々な職務があります。本ゼミは金融業界における様々な分野を幅広く学べるのみではなく、実務に携わる方から直接お話を伺える又とない機会です。(注意書き:「就活エピソードになるから」「企業とご縁ができるかも」という理由で受講するのはお勧めしません)(社3・女)

真に受講すべき対象は、今まで金融に興味を持ってこなかった、もしくは商・経済系以外の学部の学生であるとあえて言いたい。このゼミは金融に対する学びを深めるといふ面もあるけれども、金融と社会のかかわり、金融を知って今後の人生をどう生きるかという点に重点を置いたゼミであると感じた。(商2・男)

○最後に

如水ゼミだからこそ会える人生経験豊かな先輩方が、大変お忙しい中時間を割いてくれています。金融に関心のある方はもとより、学生生活や学業に意義を見い出せずに悶々としている方、就職活動や将来の人生設計に何らかの指針を求めている方など、問題意識の高い皆さんの参加をお待ちしております。また例年、留学生の方も参加しておりますし、学部、年度を超えた新しい仲間との良き出会いの場にもなることも期待しています。